

## 第70回県内信用金庫連携による合同景況調査結果

一般社団法人静岡県信用金庫協会（会長 田形 和幸）は、平成17年（2005年）10月以降、県内信用金庫連携による合同景況調査を実施しています。

各信用金庫が協力して取引先企業1,198社にアンケート調査を実施し、1,194社から得た回答（有効回答99.7%）をもとに、県内経済を支える地元企業を広く網羅して分析したものです。

静岡県信用金庫協会では、地域に密着した信用金庫ならではの情報提供を通じて地域に貢献し、信用金庫の存在意義を高めていきたいと考えております。

## 「県内中小企業等の景況感DIは4期ぶりに悪化」

## 【概況】

2024年1～3月の県内中小企業等の業況DI（企業の景況感を示す、「良い」とする企業割合から「悪い」とする企業割合を引いた数値）は、前回調査時（2023年10月～12月「以下同じ」）の▲7.5から▲17.8と▲10.3ポイントの悪化となった。

業種別にみると、サービス業（前回調査1.7→今回調査10.4）が改善、不動産業（5.6→5.6）、建設業（6.7→2.5）はプラス水準を維持したものの、製造業（▲10.0→▲28.7）、卸売業（▲8.3→▲22.5）、小売業（▲27.0→▲35.4）は悪化した。

これを地区別の業況DIで見ると、東部地区、中部地区、西部地区ともそれぞれ悪化した。（地区別の詳細は次頁のとおり）。なお、各地区とも、仕入価格や原材料価格の高騰が続いていることや、人手不足を経営課題として掲げている。

## 県内合計及び地区別DIの推移（全産業）

	2022年				2023年				2024年	
	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6 (見通し)
東部地区	▲35.9	▲26.4	▲19.6	▲14.1	▲18.9	▲17.6	▲16.0	▲11.4	▲21.1	▲12.8
中部地区	▲25.8	▲27.0	▲25.6	▲12.5	▲9.4	▲9.8	▲7.3	▲7.7	▲15.5	▲8.5
西部地区	▲27.5	▲23.7	▲19.1	▲10.9	▲18.7	▲11.8	▲9.0	▲5.3	▲16.6	▲14.9
県内計	▲29.9	▲25.0	▲20.3	▲12.1	▲17.3	▲13.2	▲10.9	▲7.5	▲17.8	▲13.3

2024年4～6月の業況見通しは、東部、中部は改善、西部はほぼ横ばいとなっていることから、県全体で、やや改善となっている。

## ■東部

東部では、サービス業が10.0ポイント(▲8.0⇒2.0)と改善しプラス化、卸売業が5.3ポイント(▲34.2⇒▲28.9)とやや改善したほか、建設業がプラス水準を維持(15.3⇒1.7)したものの、小売業が▲19.0ポイント(▲25.0⇒▲44.0)の大幅な悪化、製造業▲16.2ポイント(▲14.3⇒▲30.5)、不動産業が▲5.9ポイント(5.9⇒0.0)と悪化したことから、全産業ベースの業況DIは、前回調査時の▲11.4から▲21.1へ▲9.7ポイントの悪化となった。

### 製造業

業況は、原材料価格の高騰に販売価格への転嫁が追いついていないことから、悪化している。

今後の見通し(2024年4~6月期・以下同じ)としては、原材料価格の高騰は当面続くと予想されるものの、売上や受注の増加から、業況は改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・海外向け家電の需要が低下しており、売上は低迷している。(家電製品部品製造)
- ・物価高により仕入単価や光熱費も上昇しているが、上昇分すべてを売価に転嫁することは難しい。(自動車部品)
- ・板紙・紙器業界においては、業界内部で下請企業に対する価格転嫁を促す動きはあるが、物流コストまでは依然としてできていない。(加工紙・印刷業)
- ・新規開拓の努力が実りつつあり、長期的には売上は増加傾向にある。(機械部品加工業)

### 卸売業

業況は、原材料価格が上昇しているものの、販売価格に転嫁の進展があることから、やや改善している。

今後の見通しとしては、仕入価格は上昇傾向にあるものの、一定の売上確保が期待できることから、業況は改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・家庭紙需要は安定的であり、売上は安定して推移している。(古紙・段ボール卸売業)
- ・海産物の卸については原材料価格が高止まりしており、利益の圧迫の状態は続いている。(海産物卸売り)
- ・価格転嫁を実施するも仕入価格の高騰から利益を出しにくくなっている。(水産加工物)
- ・2024年問題については、直近での影響はないが、運搬代金への影響は十分考えられる。(文具卸売り)

### 小売業

業況は、売上の停滞に加え、仕入価格の高騰を販売価格に転嫁しきれっていないことから、悪化している。

今後の見通しとしては、仕入価格は上昇傾向にあるものの、一定の売上確保が期待できることから、業況は改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・原油価格の高騰を価格転嫁できておらず、利益の確保が困難である。(ガソリンスタンド)
- ・フルーツ等が高騰しており、価格転嫁できず、利幅は減少傾向。(洋菓子)
- ・制服の受注の増加や個人顧客の客単価を増やすことをめざす。(洋服販売)
- ・料金値上げは他業者とのバランスを図り検討している。料金値上げにより客離れしないよう留意している。(ガス小売)

### サービス業

業況は、材料価格の上昇の影響はあるものの、新型コロナウイルス感染症の5類移行等により売上が回復傾向にあることから、改善しプラス化となった。

今後の見通しとしては、原材料価格や光熱費の高騰により消費マインドも節約傾向となることが予想され、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・新型コロナウイルス感染症の5類移行により旅館からの受注が増加傾向。(リネンサプライ)
- ・新型コロナウイルス感染症の5類移行後、一般企業の動きが活発化してきており、売上は安定してきているが、今後、増加傾向にある人件費を含む一般管理費の削減が課題。(清掃用品リース業)

- ・桜祭り等のイベントがあり、春にかけては観光客の宿泊が見込めるが、閑散期の集客について考える必要あり。  
(宿泊業)
- ・物価の高騰により経費が増加している。  
(旅館業)

### 建設業

業況は、材料価格の上昇や人手不足などから施工高が減少したものの、プラス水準は維持している。

今後の見通しは、原材料価格の高騰が当面続くものと懸念されることから、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・材料費高騰の影響あり。建設業のなり手が少なく、人手不足も今後の懸念材料。  
(総合建設業)
- ・2024年問題により、工期の延長やコストが増加していることで失注案件も見受けられる。  
(建設業)
- ・人手不足は継続しており、外国人技能実習生(ベトナム)に頼っている状況。  
(土木工事請負業)
- ・各従業員が抱える現場管理数を2人3現場に変更し、分担することで残業時間の削減に取り組んでいる。  
(総合建設)

### 不動産業

業況は、仕入価格の高騰を販売価格に転嫁しきれていないことから、悪化している。

今後の見通しとしては、仕入価格は引き続き上昇傾向にあるものの、ある程度の需要はあると思われ、一定の売上確保が期待できることから、業況は改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・市場に出回る商品不動産が減少傾向。情報力の強化に尽力する方針。  
(不動産販売)
- ・物流拠点としての中古物件ニーズは引き合いが多いが、人気エリアに集中してしまい、物件を探すのに苦慮している。  
(不動産販売・仲介業)
- ・不動産も徐々に動き始めているため、情報収集が必要。  
(不動産仲介)
- ・中古住宅をリノベーションすることで付加価値をつけ販売する動きが目立つ。  
(不動産売買業・仲介業)

### ■中部地区

中部では、建設業が29.6ポイント(▲18.5⇒11.1)と改善しプラス化、サービス業が21.6ポイント(4.5⇒26.1)とプラス幅が拡大したほか、不動産業がプラス水準を維持(18.2⇒14.3)したものの、卸売業が▲38.5ポイント(0.0⇒▲38.5)、小売業が▲23.3ポイント(▲16.7⇒▲40.0)、製造業が▲19.2ポイント(▲17.3⇒▲36.5)と大幅に悪化したことから、全産業ベースの業況DIは、前回調査時の▲7.7から▲15.5と悪化となった。

### 製造業

業況は、原材料価格の高騰や人手不足などの影響により、悪化となった。

今後の見通しとしては、価格転嫁の進捗などにより、業況は改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・必要な材料が手に入らず、売上に影響が出ると思われる。技術者の確保に悩んでいる。  
(食料品製造)
- ・新築住宅の着工が減少傾向で、当社では大幅な受注減となっている。  
(建築資材製造)
- ・人材を募集しているが、まったく反応がないため、あきらめている。  
(船舶用ノズル製造)
- ・半導体関連の機械受注が好調で売上は増加しているが、売上回収までのサイトが長く、資金繰りに懸念がある。  
(工作機械製造)
- ・ハラル認証を取得、今後海外への販路開拓に力を入れて行く。  
(練り製品)

### 卸売業

業況は、仕入価格の上昇による収益の減少から、大幅な悪化となった。

今後の見通しとしては、価格転嫁による収益の増加から、業況は改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・人件費の引上げ等経費の増加もあり、収益を確保することが難しくなっている。  
(水産物)

- ・売上はコロナ禍以前の水準まで回復してきている。但し、仕入価格の上昇に対して価格転嫁が追いつかず利幅は縮小している。 (節類)
- ・現在、入荷ロット数を増やしたり、荷おろし方法を簡略化する等の納入方法の効率化に取り組んでいる。これらには、運送業界を取り巻く2024年問題への対応も背景にある。 (食料品・飲料)
- ・雑具業界自体の低迷を感じている。雑具という伝統文化に対する意識の低下により、お金をかけなくなってきている。 (雑具卸)
- ・海外からのインバウンド需要により業況は回復傾向にある。 (アメニティ用品卸)

### 小売業

業況は、物価の高騰が販売面に影響を及ぼしていることなどから、悪化している。

今後の見通しとしては、販売価格の上昇などから、業況は改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・仕入価格や販売管理費が上昇傾向にあるものの、価格転嫁が追いついていないことから、利幅は縮小傾向にある。 (自動車販売)
- ・メーカーの配送コストの増加にともない、仕入価格が4月より値上げされる見込みであり小売価格へどの程度転嫁できるか不安。 (ガソリンスタンド)
- ・コロナ禍により婚礼業界が大きく変化し、新型コロナウイルス感染症の5類移行後もフォト婚や簡略化が進んでいることから売上の回復に至っていない。 (生花小売)
- ・人材確保に苦慮している。今後、外国人の雇用も検討していく方針。 (食料品販売)
- ・能登半島地震の影響で防災意識が高まっているため、売上が伸びている。 (防災用品小売)

### サービス業

業況は、価格転嫁が進んだことにより、改善し引き続きプラス水準となった。

今後の見通しとしては、売上、収益とも大きな変化はなく、業況はやや悪化するものの、プラス水準が続くと見込んでいる。

(事業者の声)

- ・清水駅周辺は観光客が戻ってきている。 (宿泊業)
- ・業況は堅調に推移しているものの、事業先の地域特性もあって人手不足による影響や課題は厳しい状況にあるといえる。 (会計処理・コンサルタント)
- ・前期決算においては増収増益となったものの、2024年問題に直面することもあり、運送業にとっては厳しい時代となる。 (一般貨物運送)
- ・近時はネット媒体の広告を好む傾向にあるため、脅威となっている。 (広告)
- ・原材料価格の上昇も負担となっているが、人件費およびその他経費の増加が経営を圧迫している。 (宿泊業)

### 建設業

業況は、公共事業を中心に活況を呈していることによる受注、施工高の増加から、改善しプラス化となった。

今後の見通しとしては、資材の高騰や人手不足により、工事の進捗に影響を及ぼす懸念があることから、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・売上は前年水準で推移。人材育成の取組みに注力しており、新卒採用を強化して行く。 (総合建設)
- ・人材の問題、働き方および法改正への対応等不安が拭えず、危機感を持っている。 (土木工事)
- ・同業者間で人材の取り合いがある。 (解体工事業)
- ・県外から同業者が2社進出してきたため、取引先との価格交渉に苦戦している。 (橋梁工事)
- ・特に現場監督が不足している。その為、実際の工事の受注に制限が出ている。 (土木工事)

### 不動産業

業況は、販売価格などの上昇から、プラス水準を維持している。

今後の見通しとしては、不動産市場の底堅い動きが続くと予想から、引き続きプラス水準を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・不動産の売り買いには底堅い動きがみられる。引き続き、商品仕入を強化していく。(不動産賃貸)
- ・増収増益となっているが物価の高騰の影響を受けており仕入高が上昇している。人手不足が課題であり、人材の確保とともに社員教育に力を入れてゆく。(賃貸・売買仲介)
- ・物件は仕入後2か月程度で販売できており、仕入が追い付いていない状態である。(不動産売買)
- ・建売住宅・中古住宅は比較的引き合いがあるが、全体としては動きが鈍い印象がある。(不動産仲介)
- ・魅力的な若手人材の採用に力を入れる為、大手求人サイト等に掲載を実施した。(不動産仲介)

## ■西部地区

西部では、小売業が11.7ポイント(▲34.4⇒▲22.7)、不動産業が5.8ポイント(0.0⇒5.8)と改善、サービス業がプラス水準を維持(11.6⇒11.9)しているものの、製造業が▲19.5ポイント(▲7.5⇒▲27.0)、卸売業が▲15.4ポイント(1.3⇒▲14.1)、建設業が▲9.1ポイント(9.1⇒0.0)と悪化したことから、全産業ベースの業況DIは前回調査時の▲5.3から▲16.6へと▲11.3ポイントの悪化となった。

### 製造業

業況は、中国経済の停滞や自動車メーカーの認証不正発覚などにより、売上、受注が減少したことから、悪化している。

今後の見通しとしては、原材料価格の高騰は続くものの、売上、受注は回復することが予想されることから、業況はやや改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・今まで好調だった船外機や海外における売上が減少し、業況は悪化している。(二輪車)
- ・自動車メーカーの品質問題を受けて生産調整が行われるなど、先行き不安を抱いている。(自動車)
- ・原材料費の高騰と人件費の増加により、収益が減少していることに加えて人員不足も懸念材料となっている。(茶製造)
- ・長引く円安により調達コストが上昇し、収益を圧迫している。(楽器)
- ・震災の影響を受けて受注は減少した。(機械)
- ・コロナ禍が落ち着き、足元では祭り用品関係の受注依頼が増えている。(繊維)

### 卸売業

業況は、仕入価格の高止まりにより消費が落ち込んだことによる売上の停滞から、悪化している。

今後の見通しとしては、仕入価格の高止まりが当面続くものと懸念されるものの、売上の増加が予想されることから、業況は横ばいを見込んでいる。

(事業者の声)

- ・メーカーの生産停止により、受注の減少となっている。(自動車部品卸売)
- ・消費が落ち込み受注の減少となっている。4月以降の運送費の値上がりも懸念している。(衣類卸売ほか)
- ・気候変動の影響で、これまでにない数量や価格の変動が見られ、対応に苦慮している。(青果・水産物卸売)
- ・商業案件は増えているが入金までのサイトが長く、今後の資金繰りが懸念材料である。(住宅設備卸売)
- ・浜名湖花博2024の開催による売上の増加を期待している。(おみやげ品卸売)

### 小売業

業況は、仕入価格の高止まりはあるものの、消費マインドが高まっていることから、改善している。

今後の見通しとしては、価格転嫁による物価上昇が浸透しつつあり、売上の増加が期待できることから、業況はやや改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・全国各地のイベントに出向いており、売上は回復してきている。(茶小売)
- ・新規顧客の獲得により販売台数は増加している。(中古車販売)

- ・コロナ禍の影響が薄まり少しずつ良くなってきているが、仕入価格は上昇傾向にある。 (菓子製造販売)
- ・賃上げに対応していかなければ、従業員の定着や採用に支障をきたすと考えている。 (自動車販売)
- ・近隣にドラッグストア等が新たに出店し、競争が激化している。 (食料品小売)
- ・仕入価格の高止まりは売上及び収益に影響を与えている。経費削減や効率化を図っているが限界にきている。 (ガス機器小売)

### サービス業

業況は、材料価格の高止まりはあるものの、売上、収益が確保されていることから、ほぼ横ばいのプラス水準となっている。

今後の見通しとしては、各種イベントの盛り上がり期待する一方で、人手不足が懸念されることから、業況はプラス水準ながら悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・コロナ禍の収束により順調に回復している。特に個人客の来客数が増えている。 (飲食)
- ・売上は回復傾向にあり、浜名湖花博 2024 の開催により多くの宿泊客を期待している。 (宿泊)
- ・施設の維持費がかさみ、利用料金の値上げを実施した。 (レジャー)
- ・若手の採用や人材育成が課題となっている。 (飲食)
- ・大きな催しものは、能登半島地震で控える傾向もみられ、宿泊稼働率に影響が出た。 (宿泊)

### 建設業

業況は、工事の受注はある程度確保されているものの、材料価格の高止まりと人手不足が深刻さを増していることなどから、悪化している。

今後の見通しとして、原材料価格の高止まりと人手不足を懸念して、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・工事資材の高騰で取引先が着工に慎重になっており、業況の回復に時間を要している。 (土木・建築)
- ・原材料価格の更なる高騰と人材を確保するための賃上げコスト増が、収益を圧迫している。 (総合建設)
- ・売上に関しては前期並みの水準を確保できているが、人件費および原材料費の高騰により外注加工費が増加し収益に影響を及ぼしている。 (総合建設)
- ・受注は堅調だが、現場監督や作業員の不足により受注をあきらめた工事もあった。 (土木・建築)
- ・公共工事は減少したが民間工事は増加している。価格転嫁もできており収益に大きな影響はない。 (総合建設)

### 不動産業

業況は、販売価格の増加に伴い売上が増加したことから、改善しプラス水準となった。

今後の見通しとしては、売上、収益の減少を懸念しているものの、業況はほぼ横ばいのプラス水準を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・賃貸物件の入居率は安定的に推移している。 (不動産賃貸)
- ・大口不動産取引の仲介や自社管理物件のリフォーム提案で収益が増加した。 (不動産仲介)
- ・不動産売買、仲介件数は増加しているが、住宅用地の動きは鈍い。 (不動産仲介)
- ・不動産の動きが鈍くなっている中で、販売は順調に推移した。収益物件の入居率も良く、賃貸収入は安定的に推移している。 (不動産賃貸・売買)
- ・若手社員が不足しているが、今の市況では賃上げは慎重にならざるを得ない状況である。 (不動産仲介)

[お問い合わせ先]

(一社) 静岡県信用金庫協会

電話 : 054-255-5530



1. 業況(全業種)

	今回調査(2024年1~3月期)						前回調査(2023年10~12月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
東部地区	1.4%	15.4%	45.3%	27.9%	10.0%	▲ 21.1	4.3%	18.4%	43.2%	25.1%	8.9%	▲ 11.4
中部地区	1.7%	17.8%	45.4%	29.3%	5.7%	▲ 15.5	2.8%	19.9%	47.0%	24.3%	6.1%	▲ 7.7
西部地区	2.0%	15.7%	48.1%	25.9%	8.4%	▲ 16.6	1.4%	20.3%	51.4%	21.1%	5.9%	▲ 5.3
県内合計	1.8%	15.9%	46.8%	27.0%	8.5%	▲ 17.8	2.5%	19.6%	48.2%	22.8%	6.9%	▲ 7.5

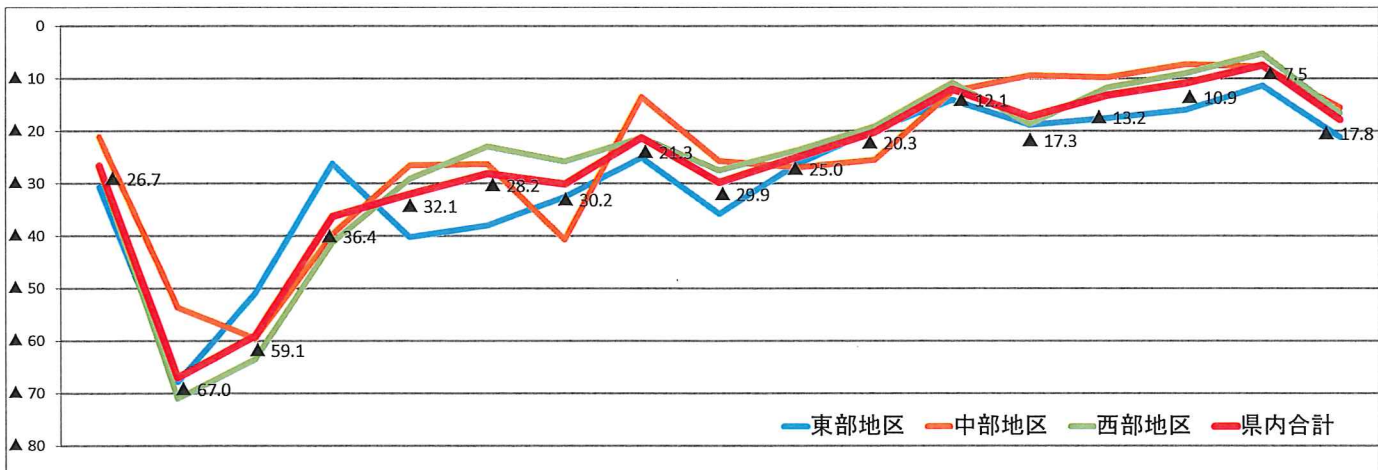
2. 業況予想(全業種)

	2024年4月~6月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
東部地区	1.6%	16.0%	51.9%	24.7%	5.7%	▲ 12.8
中部地区	1.7%	16.9%	54.2%	20.3%	6.8%	▲ 8.5
西部地区	1.4%	16.0%	50.3%	26.7%	5.6%	▲ 14.9
県内合計	1.5%	16.1%	51.4%	25.1%	5.8%	▲ 13.3

3. 業況(DI)の推移(全業種)

	2020年	2020年	2020年	2020年	2021年	2021年	2021年	2021年	2022年	2022年	2022年	2022年	2023年	2023年	2023年	2023年	2024年
	1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期	1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期	1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期	1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期	1~3月期
東部地区	▲ 30.6	▲ 67.0	▲ 50.9	▲ 26.2	▲ 40.2	▲ 38.0	▲ 32.7	▲ 25.1	▲ 35.9	▲ 26.4	▲ 19.6	▲ 14.1	▲ 18.9	▲ 17.6	▲ 16.0	▲ 11.4	▲ 21.1
中部地区	▲ 21.1	▲ 53.7	▲ 59.6	▲ 39.7	▲ 26.6	▲ 26.4	▲ 40.8	▲ 13.6	▲ 25.8	▲ 27.0	▲ 25.6	▲ 12.5	▲ 9.4	▲ 9.8	▲ 7.3	▲ 7.7	▲ 15.5
西部地区	▲ 26.9	▲ 71.0	▲ 63.6	▲ 41.3	▲ 29.1	▲ 23.0	▲ 25.9	▲ 21.3	▲ 27.5	▲ 23.7	▲ 19.1	▲ 10.9	▲ 18.7	▲ 11.8	▲ 9.0	▲ 5.3	▲ 16.6
県内合計	▲ 26.7	▲ 67.0	▲ 59.1	▲ 36.4	▲ 32.1	▲ 28.2	▲ 30.2	▲ 21.3	▲ 29.9	▲ 25.0	▲ 20.3	▲ 12.1	▲ 17.3	▲ 13.2	▲ 10.9	▲ 7.5	▲ 17.8

県内合計及び地区別DIの推移(全産業)



## 資料 2

## ・業種別業況

## 1. 東部地区

	今回調査(2024年1~3月期)						前回調査(2023年10~12月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	1.9%	13.3%	39.0%	33.3%	12.4%	▲ 30.5	2.9%	21.0%	38.1%	24.8%	13.3%	▲ 14.3
卸売業	0.0%	15.8%	39.5%	34.2%	10.5%	▲ 28.9	2.6%	18.4%	23.7%	44.7%	10.5%	▲ 34.2
小売業	0.0%	6.0%	44.0%	33.3%	16.7%	▲ 44.0	4.8%	11.9%	41.7%	28.6%	13.1%	▲ 25.0
サービス業	0.0%	24.0%	54.0%	22.0%	0.0%	2.0	0.0%	20.0%	52.0%	20.0%	8.0%	▲ 8.0
建設業	3.4%	24.1%	46.6%	17.2%	8.6%	1.7	8.5%	25.4%	47.5%	18.6%	0.0%	15.3
不動産業	2.9%	17.6%	58.8%	17.6%	2.9%	0.0	8.8%	11.8%	64.7%	14.7%	0.0%	5.9
全業種	1.4%	15.4%	45.3%	27.9%	10.0%	▲ 21.1	4.3%	18.4%	43.2%	25.1%	8.9%	▲ 11.4

## 2. 中部地区

	今回調査(2024年1~3月期)						前回調査(2023年10~12月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	0.0%	9.6%	44.2%	40.4%	5.8%	▲ 36.5	1.9%	17.3%	44.2%	26.9%	9.6%	▲ 17.3
卸売業	0.0%	15.4%	30.8%	42.3%	11.5%	▲ 38.5	3.6%	28.6%	35.7%	28.6%	3.6%	0.0
小売業	4.0%	8.0%	36.0%	48.0%	4.0%	▲ 40.0	0.0%	23.3%	36.7%	33.3%	6.7%	▲ 16.7
サービス業	0.0%	26.1%	73.9%	0.0%	0.0%	26.1	0.0%	18.2%	68.2%	13.6%	0.0%	4.5
建設業	0.0%	40.7%	29.6%	18.5%	11.1%	11.1	3.7%	18.5%	37.0%	33.3%	7.4%	▲ 18.5
不動産業	9.5%	14.3%	66.7%	9.5%	0.0%	14.3	9.1%	13.6%	72.7%	0.0%	4.5%	18.2
全業種	1.7%	17.8%	45.4%	29.3%	5.7%	▲ 15.5	2.8%	19.9%	47.0%	24.3%	6.1%	▲ 7.7

## 3. 西部地区

	今回調査(2024年1~3月期)						前回調査(2023年10~12月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	2.1%	14.2%	40.3%	32.1%	11.2%	▲ 27.0	1.5%	21.6%	46.2%	23.1%	7.5%	▲ 7.5
卸売業	2.6%	23.1%	34.6%	33.3%	6.4%	▲ 14.1	2.6%	26.9%	42.3%	24.4%	3.8%	1.3
小売業	1.5%	7.6%	59.1%	21.2%	10.6%	▲ 22.7	0.0%	7.8%	50.0%	32.8%	9.4%	▲ 34.4
サービス業	2.4%	19.0%	69.0%	9.5%	0.0%	11.9	0.0%	20.9%	69.8%	7.0%	2.3%	11.6
建設業	1.3%	18.2%	61.0%	15.6%	3.9%	0.0	1.3%	23.4%	59.7%	13.0%	2.6%	9.1
不動産業	1.9%	17.3%	67.3%	9.6%	3.8%	5.8	2.0%	11.8%	72.5%	11.8%	2.0%	0.0
全業種	2.0%	15.7%	48.1%	25.9%	8.4%	▲ 16.6	1.4%	20.3%	51.4%	21.1%	5.9%	▲ 5.3

## 4. 県内合計

	今回調査(2024年1~3月期)						前回調査(2023年10~12月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	1.8%	13.6%	40.5%	33.3%	10.9%	▲ 28.7	1.8%	21.0%	44.3%	23.9%	9.0%	▲ 10.0
卸売業	1.4%	19.7%	35.2%	35.2%	8.5%	▲ 22.5	2.8%	25.0%	36.1%	30.6%	5.6%	▲ 8.3
小売業	1.1%	6.9%	48.6%	30.9%	12.6%	▲ 35.4	2.2%	12.4%	43.8%	30.9%	10.7%	▲ 27.0
サービス業	0.9%	22.6%	63.5%	13.0%	0.0%	10.4	0.0%	20.0%	61.7%	13.9%	4.3%	1.7
建設業	1.9%	24.1%	50.6%	16.7%	6.8%	2.5	4.3%	23.3%	51.5%	18.4%	2.5%	6.7
不動産業	3.7%	16.8%	64.5%	12.1%	2.8%	5.6	5.6%	12.1%	70.1%	10.3%	1.9%	5.6
全業種	1.8%	15.9%	46.8%	27.0%	8.5%	▲ 17.8	2.5%	19.6%	48.2%	22.8%	6.9%	▲ 7.5



資料 3  
・業種別予想

1. 東部地区

	2024年4月～6月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	1.0%	19.0%	50.5%	22.9%	6.7%	▲ 9.5
卸売業	0.0%	18.4%	50.0%	23.7%	7.9%	▲ 13.2
小売業	2.4%	11.9%	46.4%	32.1%	7.1%	▲ 25.0
サービス業	0.0%	12.2%	59.2%	26.5%	2.0%	▲ 16.3
建設業	1.7%	15.5%	53.4%	24.1%	5.2%	▲ 12.1
不動産業	5.9%	20.6%	58.8%	11.8%	2.9%	11.8
全業種	1.6%	16.0%	51.9%	24.7%	5.7%	▲ 12.8

2. 中部地区

	2024年4月～6月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	0.0%	13.5%	46.2%	32.7%	7.7%	▲ 26.9
卸売業	0.0%	23.1%	46.2%	19.2%	11.5%	▲ 7.7
小売業	0.0%	10.7%	60.7%	28.6%	0.0%	▲ 17.9
サービス業	0.0%	26.1%	69.6%	4.3%	0.0%	21.7
建設業	0.0%	18.5%	48.1%	14.8%	18.5%	▲ 14.8
不動産業	14.3%	14.3%	66.7%	4.8%	0.0%	23.8
全業種	1.7%	16.9%	54.2%	20.3%	6.8%	▲ 8.5

3. 西部地区

	2024年4月～6月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	1.8%	15.2%	44.4%	31.6%	7.0%	▲ 21.6
卸売業	0.0%	20.5%	44.9%	30.8%	3.8%	▲ 14.1
小売業	1.5%	9.1%	60.6%	21.2%	7.6%	▲ 18.2
サービス業	2.4%	16.7%	66.7%	11.9%	2.4%	4.8
建設業	0.0%	18.2%	55.8%	23.4%	2.6%	▲ 7.8
不動産業	1.9%	19.2%	61.5%	13.5%	3.8%	3.8
全業種	1.4%	16.0%	50.3%	26.7%	5.6%	▲ 14.9

4. 県内合計

	2024年4月～6月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	1.4%	15.8%	45.9%	29.8%	7.0%	▲ 19.5
卸売業	0.0%	20.4%	46.5%	26.8%	6.3%	▲ 12.7
小売業	1.7%	10.7%	53.9%	27.5%	6.2%	▲ 21.3
サービス業	0.9%	16.7%	64.0%	16.7%	1.8%	▲ 0.9
建設業	0.6%	17.3%	53.7%	22.2%	6.2%	▲ 10.5
不動産業	5.6%	18.7%	61.7%	11.2%	2.8%	10.3
全業種	1.5%	16.1%	51.4%	25.1%	5.8%	▲ 13.3